



平成 25 年 12 月 17 日

独立行政法人国立科学博物館

世界一のラン 3 種が同時開花！

国立科学博物館筑波実験植物園（園長 岩科 司）で、「世界最古のラン」、「世界最長の花をつけるラン」、「世界最大のラン」の 3 種が同時開花しました。

国立科学博物館筑波実験植物園は、ランの野生種数では世界最大級のコレクションを保有しています。

このたび栽培する約 3000 種の中から「世界最古のラン（ノイウィーディア・ボルニエンシス）」、「世界最長の花をつけるラン（パフィオペディルム・サンデリアヌム）」、「世界最大のラン（グラマトフィルム・スペキオスム）」の 3 種が同時に開花しましたので、公開いたします。

特に、世界最古のランであるノイウィーディア・ボルニエンシスについては、栽培したものとしては世界初の開花となります。

なお、3 種を同時にご覧いただけるのは 12 月いっぱいの見込みです。

については、取材・記事掲載など広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：西田 幸男

担当研究員：遊川 知久（植物研究部多様性解析・保全グループ長）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail: nishida@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>

ご覧いただける蘭の情報

世界最古のラン ノイウィーディア・ボルニエンシス *Neuwiedia borneensis*

ラン科でもっとも古く出現したグループで「ランのご先祖様」というべき種類です。白亜紀（約9000～8000万年前）には存在していたと推定されています。カリマンタン（ボルネオ）島原産で、栽培したものとしては世界初の開花となります。熱帯雨林温室低地雨林室1階でご覧いただけます。



ノイウィーディア・ボルニエンシス

世界最長の花をつけるラン パフィオペディラム・サンデリアヌム *Paphiopedilum sanderianum*

ランに限らず世界でもっとも花の長い植物です。垂れ下がった2枚の花弁の長さを合わせると、180cmに達した記録があります。カリマンタン（ボルネオ）島原産のこの植物は1885年に発見されて以来、100年近くだれも見つけることができなかつたので、一時は存在自体がフィクションだったのではないかと疑われていました。熱帯雨林温室山地雨林室2階でご覧いただけます。



パフィオペディラム・サンデリアヌム

世界最大のラン グラマトフィルム・スペキオスム *Grammatophyllum speciosum*

世界でもっとも株の大きいランです。茎の長さは3メートルあまり、植物体の重さは1トンを超えることがあると言われます。東南アジアの熱帯雨林の木の上で育つこの植物は、自生地以外での開花が難しく、国内での開花例はわずかしかなかった。当園ではことし2回目の開花となります。水生植物温室でご覧いただけます。



グラマトフィルム・スペキオスム

筑波実験植物園の基本情報

開園時間 9:00～16:30（入園は16:00まで）

休園日 毎週月曜日（祝日・休日の場合は開園）
祝日・休日の翌日（土曜・日曜日の場合は開園）
年末年始（12月28日～1月4日）
※但し、12月24日（火）、平成26年3月17日（月）、
3月31日（月）は開園

入園料 一般 300円（65歳以上の方及び18歳未満の方は無料）
団体 200円（20名以上）
リピーターズパス 1,000円

交通案内 【お車でお越しの方】

常磐自動車道 桜土浦 I.C. から北（筑波山方面）へ約8 km。無料駐車場あり。（乗用車120台分）

【電車・バスでお越しの方】

つくばエクスプレス線「つくば駅」（つくばセンターバスターミナル）下車。路線バスで「筑波実験植物園前」下車徒歩2分または「天久保二丁目」下車。徒歩8分。

